

東雲 ^名
あむる ^{動マ行下二}
丘 ^名
の上 ^助

春 ^名
の ^助
先 ^助
の ^助
み ^{動マ行上二}
つる ^動
とき ^助

信 ^名
もて集 ^{動マ行五}
う ^体
若者 ^名
かい ^助

呼 ^{動ハ行四段}
心 ^助
や ^助
希望 ^名
と ^助
愛 ^名
の ^助
うた ^名

アロニエ ^名
並木 ^名
落 ^動
ち葉 ^名
して ^助

柄 ^名
に ^助
高 ^名
さ ^助
比斗星 ^名

真理 ^名
の ^助
門 ^名
を ^助
叩 ^動
け ^助
や ^助
と ^助

ナマヤ ^{動カ行四段}
く ^助
如 ^動
く ^助
また ^助
た ^助
め ^助

マ ^名
南夷 ^名
の ^助
字 ^名
が ^助
合 ^助
に ^助

愛 ^名
の ^助
訓 ^名
え ^助
の ^助
帝 ^名
を ^助
し ^助
め ^助

もろ ^名
国 ^名
人 ^名
を ^助
友 ^名
と ^助
し ^助

行 ^{動カ行四段}
く ^助
へ ^助
道 ^名
を ^助
究 ^動
め ^助
な ^助
人 ^名

世界 ^名
の ^助
平和 ^名
成 ^動
らん ^動
と ^助
け ^助

栄光 ^名
と ^助
わ ^助
に ^助
あ ^動
れ ^動
か ^助
し ^助
と ^助

とも ^名
い ^助
た ^助
た ^助
ん ^助
わ ^助
が ^助
母国 ^名

立教 ^名
英 ^名
国 ^名
字 ^名
院 ^名
を ^助

去る・助動

通言

英語と比較してみよう

よく注意してみると、だいぶ違う意味だったり、日本語にはない部分が加えられていたりしていることに気が付きました。

Let us meet the sun. などは、日本語の中にはありません。しかし、歌詞をみていると、なんとなくその情景が思い浮かべられようような感じがしました。私が日本人だからというのかもしれませんが、それが文化の違いにも発展してくるんだなと思いました。

そして古い言葉で書かれている分、日本語のときは少しかたく感じ、逆に、英語のほうは明るく感じられました。

聖書と歌詞

① 東雲介と曙(あけぼの)

夜がほろほろと明けまじろ。

② コリント前十三章

(信仰)と(希望)と(愛) 最も大きいのは(愛)

③ マタイ七

門をたたきなさい。そうすれば開く。

④ コロサイニ

愛を身につけなさい。

⑤ ルカニ

①と②と③には栄光、神にあらはれ、御に満ちた人あれ。

日本語でも聖書と全くなががっている。作詞した人はすごいと思いました。

現代語訳(古文から)

- 1 夜が明けてきた丘の上、春の光がみえるとき、信をもって集まる若者が呼ぶ希望や愛の歌。
- 2 マロニエ並木が落ち葉して、梢に高い北斗星。真理の門を叩けと囁くようにまたたく。
- 3 ここ南英の校舎に愛の教えの帯を締めて同じ国にいる友達として行くべき道(国際人を目指して)を極めよう。
- 4 世界の平和が成るとき、栄光永遠にあれば、ともに讃えよう、我が母校、立教英国学園を。



和訳(英語から)

1. 夜明けの「私たちの丘」の頂上、：太陽に挨拶しましょう。世界中の人々が今、新鮮な春の光に包まれているように見えます。信をもって集う若い人たちの声が呼ぶ希望と愛の歌。
2. 2. 栗の木が一行に並んでいる、秋の落ち葉-そこの梢の上に高く北の星が明るく輝いています。それは今私たちにささやきかけていますか？ 「真実の門であなたがたをたたきなさい。開かれなければならない」
3. ここ南イングランドで、「私たちの学校、丘の真ん中にいます。毎日、私たちが愛の戒律で守ってくれます。そして、すべての土地の人との友情に私たちの帯をしめ、一緒に検索して私たちの進むべき道を見つけるのです。
4. ついに平和が私たちの世界に本当にやって来たとき、栄光は神に最高峰にいます。それから、私たちの母校にも賞賛を歌います。 立教愛国学園私たちの心は真実です。